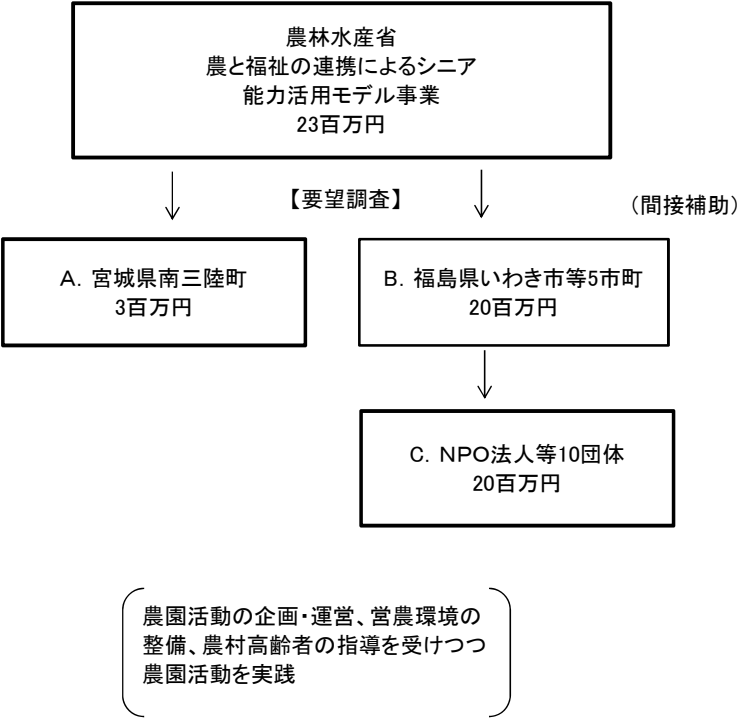


平成24年行政事業レビューシート(復興庁、農林水産省)									
事業名	農と福祉の連携によるシニア能力活用モデル事業 (復興関連事業)			担当部局	復興庁統括官付参事官(予算会計担当)			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度			担当課室	農林水産省経営局就農・女性課 女性・高齢者活動推進室			参事官 尾関 良夫 室長 荻野 喜江	
会計区分	一般会計			施策名	⑤意欲ある多様な農業者による農業経営の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画、東日本大震災からの復興の基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地において市町村等が農園を設置し、仮設住宅入居者等が参加して行う営農活動を実施し、これに対し近隣の高齢農業者等が技術指導を行う取組をモデル的に実施することにより、①農村高齢者の活動・就労の場の確保、②農と福祉の連携による新しい営農・雇用形態の創出、③被災者に対し農作業を通じた心身のケアの提供に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の事業目的を達成するため、 ①仮設住宅入居者等が協働で行う農園活動の企画・運営、②高齢者等が農作業をしやすい軽労力化営農環境の整備、③農園活動の実践、④先進・熟練農家等による農業技術指導等を支援 補助率:定額								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	—	13(復興庁計上)	—		
		補正予算	—	—	84(農林水産省計上)	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	0	13	—		
	執行額		—	—	23				
	執行率(%)		—	—	28				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)
	○農地面積のうち販売農家が担う面積の割合			成果実績	%	—	—	69.1 (70.2)	7割程度
				達成度	%	—	—	(おおむね有効)	
	○農地面積のうち集落営農が担う面積の割合			成果実績	%	—	—	11.0 (12.0)	2割程度
				達成度	%	—	—	(おおむね有効)	
	中間成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	○営農活動参加者及び就労した農村高齢者に占める満足した者の割合 (目標値:23年度70%、24年度80%)			成果実績	%	—	—	86 (70)	80
				達成度	%	—	—	123	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	○営農活動参加者数			活動実績 (当初見込み)	人	—	—	568 (540)	—
単位当たりコスト	2,107 (千円/地区)			算出根拠	単位当たりコスト(2,107千円)=執行額(23,176千円) ÷取組地区数(11地区)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	農業環境整備費	9	—						
	活動へのサポート経費等	4	—						

計	計	13	—
---	---	----	---

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成23年度第3次補正予算の成立同日付けで実施要綱等を施行したものの、地域によっては、①降雪時期に入り営農が困難となる地域があった②沿岸部等において仮設住宅周辺に農地の確保が困難な地域があった等の要因により不用率が大きくなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	採択基準を設定するとともに、被災地の市町村に対し要望調査を実施し、要望があった計画の妥当性を審査し事業実施主体を選定。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	若者から高齢者まで地域の持てる力を結集し復興に取り組む必要があり、農業の継続を断念せざるを得ない高齢者の豊富な経験や知識、技術を活かせる場をつくる必要がある。また、仮設住宅入居者の孤立が懸念されるなど被災者に対する福祉の充実が喫緊の課題等から被災地のニーズを踏まえた事業であり、当該被災地の市町村等に対し国が支援すべき事業である。 平成23年度は、農園活動の立ち上げに必要な経費を含めたものであったが、24年度においては農園活動の立ち上げに係る経費は除外し、農園活動の運営に必要な経費に限定するとともに、対象地区数を縮減し予算の大幅な減額(△71百万円)を行った。		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興ー0016

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	種子、事務用品等	0.9			
賃金	農作業指導者賃金	0.1			
委託費	農園整備	0.0			
施設等整備費	管理機等	1.5			
計		2.6	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	間接補助	20.6			
計		20.6	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	種子、肥料、農薬等	1.0			
謝金	現地セミナー講師	0.1			
賃金	農作業指導者賃金	0.0			
委託費	トラクター作業委託	0.0			
施設等整備費	ビニールハウス等	2.7			
その他	農地借上料等	0.1			
計		3.8	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	南三陸町	農園活動の実践、満足度の把握	2.6	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県いわき市	間接補助	9.9	-	-
2	宮城県南三陸町	間接補助	3.1	-	-
3	福島県南相馬市	間接補助	3.8	-	-
4	宮城県石巻市	間接補助	2.1	-	-
5	福島県浪江町	間接補助	1.5	-	-
6	福島県双葉町	間接補助	0.2	-	-
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人公共政策支援団	農園活動の実践、ハウスの整備、満足度の把握	3.8	-	-
2	NPO法人勿来まちづくりサポートセンター	農園活動の実践、ハウスの整備、満足度の把握	3.2	-	-
3	グリーンウェーブ入谷構想促進委員会	農園活動の実践、ハウスの整備、満足度の把握	3.1	-	-
4	ふくしまの新たな農業推進協議会	農園活動の実践、ハウスの整備、満足度の把握	2.9	-	-
5	いわきいきいき食彩館生産者委員会	農園活動の実践、満足度の把握	2.8	-	-
6	NPO法人北上経営総合研究所	農園活動の実践、満足度の把握	1.7	-	-
7	NPO法人まちづくりNPO新町なみえ	農園活動の実践、ハウスの整備、満足度の把握	1.5	-	-
8	NPO法人いわき自立生活センター	農園活動の実践、満足度の把握	1.0	-	-
9	NPO法人石巻復興支援ネットワーク	農園活動の実践、満足度の把握	0.4	-	-
10	双葉町元気農園	農園活動の実践、満足度の把握	0.2	-	-